

A：本日の園小架け橋研修はいかがでしたか？

【園関係者】

1. 教師間の交流と情報共有の重要性

- ・異なる校種の先生方と対話し、様々な観点からの意見を聞くことができた。

2. 教育の連携と指導の気付き

- ・園と小学校の学びについて共に考えることができた。
- ・幼少期の活動が小学校や中学校にどうつながるのか理解できた。

3. 実践的な学びと具体的な事例の共有

- ・困ったことや改善策について具体的な手立てを見付けることができた。
- ・小学校、中学校の現状や子どもの情報を共有することができた。

4. 教育の連続性の認識

- ・小学校、中学校へのつながりが見え、教育の連続性を感じることができた。

5. 継続的な連携と改善の必要性

- ・園、小学校、中学校のつながりを感じ、今後の連携の重要性を再認識した。
- ・園の先生方がもっと参加し、話を聞く機会が増えると良いと感じた。

【小中学校関係者】

1. 異校種間の交流と意見交換の重要性

- ・中学校の先生も参加し、幅広い学習の話ができた。こども園、小学校、中学校の先生方との意見交流ができ、異なる校種の先生方と話し合うことで、様々な視点や意見を共有でき良かった。

2. 具体的な事例と日常的な話の有用性

- ・具体的な事例が多く、分かりやすかった。それぞれの先生方の実体験や具体例を通して、理解が深まった。

3. 幼児から中学生までの学びの理解

- ・幼児から中学生までの学びや困ったことも含めて理解できたことが良かった。各発達段階の子ども達の様子を知ることができ参考になった。

4. 園小中のつながりを再確認

- ・幼少期の活動が小学校や中学校、さらには今後につながっていくことが理解できた。

5. 多くの気付きと改善の手立て

- ・多くの気付きや、困ったことを改善する手立てを見つけることができた。特に、子どもの発達段階や環境の大切さについて知ることができ良かった。

A：本日の研修の感想や学んだこと、気付いたこと等記入ください。

【園関係者】

1. 対話の重要性

- ・対話を通じて、子どもたちの協同する力やコミュニケーション能力が向上する。
- ・対話を大切にすることで、主体的で深い学びが促進される。

2. 自己決定と主体性

- ・自己決定することで、子どもたちの意欲が向上し、主体的な学びが促進される。

3. 園での経験の重要性

- ・園での経験が、小学校での学びにつながることを理解し、様々な経験をさせることの大切さを再認識した。

4. 小学校との連携

- ・小学校の教科書を見たり、実際の話を通して、小学校の学習内容を知ることができ、園での取組が小学校での学びにつながっていることを理解した。

5. 学びの意欲と発想の尊重

- ・子どもたちの疑問や発想を大切にし、それを保育に取り入れることで学びの意欲を引き出すことができると分かった。
- ・子どもたちが自分で考え、試行錯誤することで、対話が増え、学びが深まる。

【小中学校関係者】

1. 園小中学校の連携の重要性

- ・子どもの成長を連続的に捉える視点が得られた。
- ・異なる教育段階の教師が意見交換をすることで、子どもを中心にいた教育が実践されると思う。

2. 自己決定と自己肯定感の育成

- ・子どもに自己決定させることの重要性を再認識。失敗を通じて課題を見つけ、自ら解決策を考えるプロセスが大切で、その過程で自己肯定感が育まれるように関わっていくことが重要。

3. 体験学習と対話の重要性

- ・体験活動や対話を通して、子どもたちの学びを深めることが重要。
- ・生活科の学習が他の教科（例：算数）にどのようにつながるかについての理解が深まった。

4. 教師の役割と授業の工夫

- ・教師が全てを教えるのではなく、子どもが「なぜ？」と考える場を設定することの重要性が理解できた。授業を通し、子どもの「やりたい」「考えたい」を叶える努力が必要。

5. 具体的な学びの実践

- ・幼少期からの具体的な体験が、後の学びにつながることを理解できた。